



家庭学習のすすめ



<皇子山中学校区版>

※こちらの面をよく見える所にはっておきましょう！

家庭学習の意義

家庭学習によって、次のような教育効果が期待できます！

- 1 学習内容が確かなものになる
- 2 学習の習慣が身につく
- 3 がまん強さ、根気、集中力がついてくる
- 4 家族のふれあいの場にもなる

家庭学習のポイント、保護者の役割

保護者の心がまえや関わり方で、家庭学習の成果もかわってきます。子どもの学習意欲が高まるようなはたらきかけをお願いします。

- 1 決まった時間に毎日学習する
- 2 集中して学習する
- 3 学習環境をととのえる
- 4 子どものがんばりを認め、ほめて励ます

家庭学習の方法

- 1 学校の宿題に最初に取り組みさせてください。時間があれば、自主学習や読書などに取り組みさせてください。
- 2 高学年になったら、自分で考えて取り組めるようになることが大切です。
- 3 勉強がおわったら、次の日の準備をする習慣をつけさせましょう。

鉛筆をけずり、準備物をしっかり用意し、次の日の学習予定を頭に入れておくことが大切です。

各学年の学習時間

- | | |
|---------|-----------|
| 1年生・2年生 | 20分～30分以上 |
| 3年生・4年生 | 40分～50分以上 |
| 5年生・6年生 | 60分～70分以上 |

※詳細は裏面をご覧ください。

各学年の家庭学習のポイント（5・6年生）

見守りほめてやる気を伸ばす

子どもの話をよく聞き、成長を温かく見守ることで、将来の夢や目標を持って努力するようになります。

こんな時期です

- 自分でできているので言葉かけに配慮が必要です。
- 得意な教科や苦手な教科を意識するようになります。
- 体も心も急激に変化します。バランスがくずれ、不安定になることもあります。成長を見守ることも大切です。



ポイント

- (1) **子どもの学習に関心を** 計画を立てて自力で学習を進めるように見守りましょう。
 - ・子どものちょっとしたがんばりをほめる。
 - ・他の子どもと比べず、昨日のわが子と比べてほめる。
- (2) **学習環境を整える** 自分に合った生活リズムをつくりましょう。
 - ・テレビは消す。スマートフォンやゲーム機は別の場所に置く。
 - ・帰宅後、夕食前など、学習に取り組む時間帯を決める。
- (3) **家族と学校の協力** 思春期を迎え、子どもの心と体について気になることがあれば、担任の先生と話し合しましょう。
 - ・家庭でも学校でも子どもの話をよく聞く。



学年で身につけたい力

< 努力が実る5年生 >

- ・配当漢字（185字）のすべてを読み、8割以上の字を書くことができる。
- ・今までに習った漢字を使った熟語の8割以上を書くことができる。
- ・敬語に関心をもち、正しく使うことができる。
- ・日本や世界の主な国々の位置を正しく示すことができる。
- ・公式を使って面積や体積を求めることができる。
- ・小数のかけ算、わり算ができる。
- ・分数のたし算、ひき算ができる。
- ・割合を使った問題を解くことができる。
- ・日本の国土(山・、など)や産業について調べることができる。
- ・家庭科で学んだことを家庭で実践する。
- ・理科の実験方法や結果をまとめることができる。

< 夢や希望が持てる6年生 >

- ・小学校で習った漢字の8割以上の漢字や熟語を書くことができる。
- ・歴史に残る古文に親しむことができる。
- ・分数のたし算、ひき算、かけ算、わり算ができる。
- ・歴史上の人物や出来事について簡単に説明できる。
- ・日本国憲法や社会のことを調べたり、関心を持ってニュースや新聞を見たりすることができる。
- ・理科の実験方法や結果をまとめたり、宇宙や自然のことに興味を持って調べたりできる。
- ・家庭科で学んだことを家庭で実践する。
- ・読書を通して、考えを広げたり深めたりできる。